



## 2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社ティーケーピー 上場取引所 東  
コード番号 3479 URL <https://www.tkp.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 貴輝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 中村 幸司 TEL 03-5227-7321  
四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	9,022	△31.5	1,747	43.8	1,758	66.4	4,628	—
2023年2月期第1四半期	13,180	28.3	1,215	—	1,056	—	393	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 4,800百万円 (907.9%) 2023年2月期第1四半期 476百万円 (—%)

2024年2月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため、「—」と記載しています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	110.74	109.85
2023年2月期第1四半期	9.43	9.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	73,391	37,707	51.3
2023年2月期	72,089	32,868	45.5

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 37,652百万円 2023年2月期 32,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	△28.1	5,400	51.0	5,000	63.3	6,700	—	160.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	42,311,485株	2023年2月期	42,279,985株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	506,545株	2023年2月期	506,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	41,793,230株	2023年2月期1Q	41,714,325株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年7月13日（木）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日～2023年5月31日）における当社グループを取り巻く環境は、依然として諸外国における金融政策の転換を背景とした急速な為替相場の変動やロシア・ウクライナ問題の長期化による世界的な資源価格の変動等、将来的な見通しが不透明な状態が継続しております。一方で、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、特に5月8日以降は、感染法上の位置づけが5類へ移行されたことで、人流は総じて回復基調となり、当社グループを取り巻く事業環境は好転しております。

こうした状況のもと、当社は2024年2月期第1四半期において、3施設の新規出店を行った一方、リージャスとの共同出店の解消や、賃貸物件の契約満了等に伴い10施設を退店し、2023年5月末時点で230施設の貸会議室およびホテル・宿泊研修施設を全国に展開しております。

主力である貸会議室事業は、会議やセミナー、研修等を対面で実施する需要がコロナ禍から大きく回復し、企業の人事研修への注力度も増した結果、稼働が好調に推移しました。特に、企業内の人事研修が多く、貸会議室の繁忙期である4月においては、売上高がコロナ前水準まで回復し、月次の営業利益は、連結・単体ともに過去最高となりました。今後についても貸会議室の旺盛な需要を見込んでおり、積極的な出店を続けております。2024年2月期から2026年2月期を対象期間とした中期経営計画においては、年間1万坪以上の出店を目指しておりますが、今期は既に7,000坪以上の出店が決定しており、特に足元は、福岡の「TKPエルガーラホール」や千葉のTKPガーデンシティ幕張内「TKP東京ベイ幕張ホール」等、百名～千名単位での収容が可能な大規模ホールの出店を強化しております。

ホテル・宿泊研修事業においては、当社がフランチャイジーとして運営するアパホテルは、安定した収益を確保する要因となっていた新型コロナウイルス感染者用宿泊療養施設/感染対策用施設としての貸し出しが終了したものの、移動を伴う旅行や出張等の需要回復を受け、高い稼働率・客室単価を維持しております。日本発着の国際線運航再開が進み、国内旅行においても引き続き観光支援策が実施されていることから、今後もインバウンド需要及び社会経済活動のさらなる回復が期待されます。

なお、2023年2月1日に全株式譲渡を完了した日本リージャス・台湾リージャスは、当第1四半期連結累計期間より、連結業績の対象から外れております。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,022百万円（前年同期比31.5%減）、EBITDAは2,067百万円（前年同期比19.0%減）、営業利益は1,747百万円（前年同期比43.8%増）、経常利益は1,758百万円（前年同期比66.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,628百万円（前年同期比1,075.9%増）となり、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となりました。

リージャス事業売却前の前期と比較すると、売上高・EBITDAは減少するものの、営業利益以下の各段階利益が増加しております。なお、法人税等調整額3,260百万円を当第1四半期に計上しておりますが、これは、リージャス事業売却により発生した子会社（特別目的会社）における繰越欠損金を当第1四半期会計期間において親会社が承継したことにより、親会社にて繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上したことによるものです。

連結業績

(単位：百万円)

	2023年2月期 第1四半期	2024年2月期 第1四半期	前年同期比 増減率
売上高	13,180	9,022	△31.5%
E B I T D A	2,552	2,067	△19.0%
営業利益	1,215	1,747	+43.8%
経常利益	1,056	1,758	+66.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	393	4,628	+1,075.9%

調整後業績比較 (2023年2月1日に売却したリージャス事業を除いた業績)

(単位：百万円)

	2023年2月期 第1四半期	2024年2月期 第1四半期	前年同期比 増減率
売上高	8,040	9,022	+12.2%
E B I T D A	1,879	2,067	+10.0%
営業利益	1,559	1,747	+12.0%
経常利益	1,504	1,758	+16.9%

※E B I T D Aは営業利益に減価償却費、のれん償却費、長期前払費用償却及び顧客関連資産等の無形資産償却費を加算して算出しています。

貸会議室事業のK P I (重要業績評価指標)である有効会議室面積1坪あたりの売上高は、契約満了やリージャスとの共同出店店舗の解消に伴う会議室面積の一時的な減少および売上高の増加により、前年同期比で+1,907円となっております。

貸会議室事業のK P I (重要業績評価指標)である有効会議室面積1坪あたりの売上高推移

(単位：円)

	第1四半期平均
2023年2月期	31,780
2024年2月期	33,687
前年同期比	+1,907

(注)売上高：会議室の室料、オプション料、料飲等会議室利用に付随する月次売上高合計の四半期平均

有効会議室面積：会議室としてレンタル可能な面積の合計（施設の共用部分や宿泊施設の客室等、会議室として利用されない面積は含まない）

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,179百万円減少し、34,122百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3,996百万円などがあったことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,481百万円増加し、39,269百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産の増加3,181百万円、投資有価証券の増加1,580百万円などがあったことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,713百万円減少し、9,754百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少1,027百万円、未払法人税等の減少754百万円などがあったことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ823百万円減少し、25,929百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少905百万円などがあったことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4,839百万円増加し、37,707百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加4,628百万円などがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「2023年2月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,661	28,664
売掛金	3,464	3,107
その他	2,191	2,356
貸倒引当金	△16	△7
流動資産合計	38,301	34,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,753	15,606
土地	7,859	7,859
その他(純額)	152	152
有形固定資産合計	23,765	23,618
無形固定資産		
のれん	90	87
顧客関連資産	193	187
その他	499	585
無形固定資産合計	783	860
投資その他の資産		
投資有価証券	1,716	3,297
敷金及び保証金	5,802	6,610
繰延税金資産	715	3,896
その他	1,004	986
投資その他の資産合計	9,239	14,791
固定資産合計	33,788	39,269
資産合計	72,089	73,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	588	516
未払法人税等	1,173	418
1年内償還予定の社債	485	459
1年内返済予定の長期借入金	6,371	5,344
その他	3,849	3,015
流動負債合計	12,467	9,754
固定負債		
社債	1,980	1,935
長期借入金	23,507	22,601
繰延税金負債	67	64
資産除去債務	896	918
その他	302	409
固定負債合計	26,753	25,929
負債合計	39,221	35,684
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,320	16,334
資本剰余金	18,336	18,353
利益剰余金	△2,019	2,609
自己株式	△18	△18
株主資本合計	32,620	37,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	422
繰延ヘッジ損益	△0	△12
為替換算調整勘定	△34	△36
その他の包括利益累計額合計	201	373
新株予約権	47	55
純資産合計	32,868	37,707
負債純資産合計	72,089	73,391



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	13,180	9,022
売上原価	8,821	5,274
売上総利益	4,358	3,748
販売費及び一般管理費	3,143	2,000
営業利益	1,215	1,747
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	-	0
助成金収入	61	94
その他	32	6
営業外収益合計	94	101
営業外費用		
支払利息	141	68
社債利息	3	2
貸倒損失	82	-
支払手数料	12	15
その他	13	4
営業外費用合計	252	90
経常利益	1,056	1,758
特別損失		
減損損失	8	2
事業整理損	-	48
支払補償金	-	14
特別損失合計	8	64
税金等調整前四半期純利益	1,048	1,694
法人税、住民税及び事業税	410	326
法人税等調整額	229	△3,260
法人税等合計	640	△2,934
四半期純利益	408	4,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	393	4,628

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	408	4,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	186
繰延ヘッジ損益	11	△12
為替換算調整勘定	38	△2
その他の包括利益合計	68	172
四半期包括利益	476	4,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461	4,800
非支配株主に係る四半期包括利益	14	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、空間再生流通事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。